

<課題図書紹介>

2024年度 第1回松井塾オリジナル『読書検定』実施のお知らせ

語彙は考える力の源です。読書は、私たちに「何か」を気づかせてくれます。読書はまた、考えるきっかけにもなります。物語は、私たちを未知の世界へ導き、新しい経験をさせてくれます。そして新書や新聞は、みなさんがこれまでわからなかったことや、確信できなかった謎に、「そうか、こういうことだったんだ!」という解答をあたえてくれるカギとなります。

2024年度第1回読書検定 ～実施要項～

●**検定日**：5月7日(火)・8日(水)・9日(木)

●**出題範囲**

・『霧のおここのふしぎな町』 柏葉 幸子

・『幸福な食卓』 瀬尾まいこ

合格者にはポイント贈呈!

検定合格：20pt

満点合格：30pt

合格率トップクラス:全員に10pt

出題内容

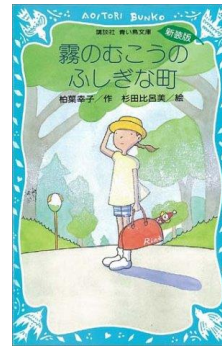
本の内容についての基本的な問題が出題されます。国語の読解問題のような出題はありません。作者名や登場人物について、作品の舞台、人物の関係や話の大まかな流れを覚えながら読み進めるとよいでしょう。あなたが感動した、心に残った言葉なども覚えておきましょう。

読書に慣れていない小学生には、「霧のおここのふしぎな町」をおすすめします。おもしろいですよ!

『幸福な食卓』は短編集ですが、連作になっています。検定範囲は4編全てです。どの短編も読みやすいので、瀬尾まいこ作品の入り口に最適です。

自信がある人は、ぜひ2冊とも挑戦してみましよう!

柏葉 幸子『霧のおここのふしぎな町』(講談社青い鳥文庫) 748円



夏休み、電車をのりつぎ一人旅に出たリナ。おとうさんが昔行ったことがあるという「霧の谷」を目指します。「霧の谷」の中には、風変わりな、かわいい町があります。そして町には、少し変わっているけれど、やさしい人たちが住んでいます。町の人々との交流を通じて、少しずつリナが成長していきます…。

先日、『君たちはどう生きるか』でアカデミー賞を受賞した宮崎駿監督の『千と千尋の神隠し』にも影響をあたえたという日本発のファンタジー作品です。読書に慣れていない人でも楽しくスラスラ読める作品でおすすめです!

瀬尾まいこ『幸福な食卓』(講談社文庫) 682円



中学2年生の主人公(佐和子)の父が「今日で父さんを辞めようと思う」と言い出す場面からはじまる「幸福な朝食」。この書き出しにきっと引き込まれるはず。母は家出中なのに料理を届けに来ます。兄は元天才児。少しヘンな家族に囲まれ様々な出来事に苦悩しながらも、それでも前に進もうとする佐和子の成長物語です。

4つの短編からなる連作小説で、1つ1つの作品に心が温まります。『そして、バトンは渡された』で本屋大賞を受賞した瀬尾まいこさんの作品は、『あと少し、もう少し』や『強運の持ち主』など読書検定にも取り上げています。気に入ったら別の作品も読んでみましょう。

※注意※

課題図書は塾では販売しません。各自で購入するか、図書館・図書室で借りて読んで下さい。未来屋書店(板橋イオン4F)で購入する場合は、松井塾コーナーを探してみてください。3月19日(火)以降に店頭^に並ぶ予定です。